

表 「思春期の子どもを支える会」における多職種連携を強化する仕掛け

I 情報発信

- 1 ホームページ：会のコンセプト、登録者から寄せられた情報、地区の活動、過去の勉強会の録画のアーカイブ、名簿名簿はパスワードで管理し、地区を越えて個々に連絡がとれるようにしています
各分野で紹介されたホームページやYouTubeなどのリンク、チームの定期的な評価をアップしています
- 2 メーリングリスト：地区別、4地区全体のメーリングリストを作成。分野特有の研修会や知見の情報を発信しています
- 3 LINEによるオープンチャット：参加は登録者限定で管理。現在、チーム学校、教師のみ、周産期からの親支援、虐待予防実践、疾病・感染症など医療者との交流の5テーマでトークルームを開設しています

II 勉強会

- 1 定例ワールドカフェ：1回/月zoomによる運営。登録者による話題提供とグループディスカッションを行っています
感想をGoogleフォームで収集し、参加できなかった登録者のために録画とともにホームページにアップしています
- 2 シンポジウム、対面の勉強会・交流会

III 活動

- 1 学校・子育て支援センターなどで性・人権教育の実践、講師紹介など
- 2 要保護・要支援児童（家族）の連携先探し・相談：妊娠・性感染症疑いの中学生を登録者の養護教諭と近医の助産師が、安心して受診、治療継続できるよう各機関の体制を整えるなど、保険診療外の支援を行ったりしています
児童相談所対応してもらえなかった薬物中毒、リストカットの高校生の支援先を探したりしました
メーリングリストやオープンチャットを使って、人材や病院など機関探しのプラットフォーム機能を有しています
- 3 幼保の卒園生を対象とした「中1の会」
中学生とその親を対象に園でホームカミングを行い、思春期になった子どもと親のピアサポートのきっかけを創っています

IV 調査・研究

- 1 分野交流により生じた疑問を研究によりエビデンスをつくり、現場に還元しています